

農  
林  
水  
産



# 農 業

本市の農業形態は、九頭竜、足羽、日野の三大河川流域を中心とした水稲単作で、越前の米どころとして長い歴史をもち、地域特性を生かした農業等が営まれている。

農業の構造は、都市化の影響により農家戸数、就業人口は減少しているものの、農地中間管理事業を活用した農地の集積に併せ、集落営農組織等の法人化が進み、1経営体当たりの経営規模は拡大している。

また、本市の農地は約95%を水田が占めているが、近年の米の需要低下、米価の低迷により、水稲+大麦+大豆、そばの2年3作や水稲にキャベツやネギなどの園芸作物を組み合わせた水稲と園芸の複合経営が進んでいる。

## 1 県農業に占める本市農業

### (1) 農家戸数

(2015年センサス・2015年国勢調査)

区分	総世帯数	農家戸数	販売農家	専業	第1種兼業	第2種兼業
県	279,687 戸	22,872 戸	15,245 戸	2,468 戸	1,235 戸	11,542 戸
市	99,872	4,859	3,405	555	236	2,614
市/県(%)	35.7	21.2	22.3	22.5	19.1	22.6

### (2) 耕地面積

(福井農林水産統計年報：平成29年耕地面積調査)

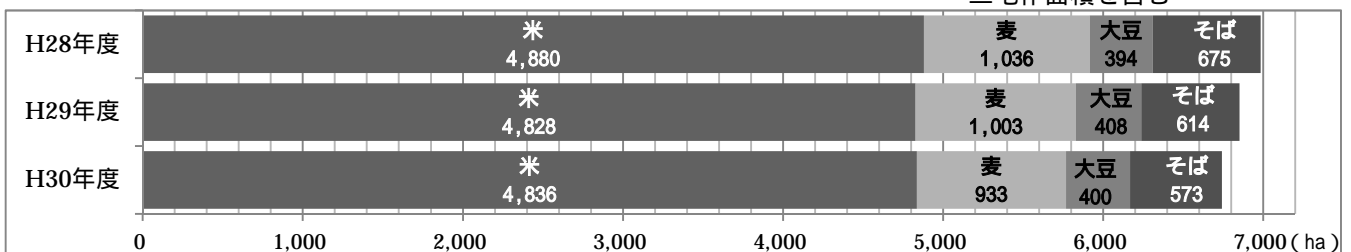
区分	畑	田	畑
県	40,300 ha	36,600 ha	3,760 ha
市	7,950	7,550	396
市/県(%)	19.7	20.6	10.5

## 2 農産物作付面積

(農政企画課)

区分	作付面積		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
米	4,880 ha	4,828 ha	4,836 ha
麦	1,036 ha	1,003 ha	933 ha
大豆	394 ha	408 ha	400 ha
そば	675 ha	614 ha	573 ha

二毛作面積を含む



### 3 中山間地域等対策

中山間地域は、まとまった平坦な耕地が少なく農業生産条件が不利な地域である一方、農業生産活動の営みは、多様な農林水産物を供給するとともに、水資源の涵養や洪水の防止など公益的な役割を果たしている。

本市における中山間地域（特定農山村地域）は16地区（152集落）で、高齢化や過疎化、担い手不足が進む中、生産・生活条件の改善と多面的機能の維持増進をめざし、各種の活性化策を講じており、中山間地域等における適切な農業生産活動の継続と多面的機能の確保を図るための施策として、中山間地域等直接支払制度を実施している。

< 中山間地域等直接支払制度実績 >

年 度	協定締結集落	対象面積（ha）	交付金額（円）
28	50集落	348.4	55,559,260
29	51集落	351.0	56,038,415
30	51集落	353.7	56,255,526

### 4 家畜家きん飼養頭羽数

（農政企画課）

調 査 年 月 日	乳用牛			肉 用 牛										豚		採卵鶏		ブロイラー	
	飼養戸数	飼養頭数		飼 養 戸 数				飼 養 頭 数						飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数
		総 数	左 の 産 内	繁 殖 経 営	肥 育 経 営	一 貫 経 営	計	繁 殖 牛			肥 育 牛								
								繁 殖 牛	仔 牛	小 計	肉 専 用 種	交 雑 種	小 計						
29. 3. 31	3	126	124	1	3	1	5	9	5	14	17	224	241	0	0	7	8,170	1	25,000
30. 3. 31	3	139	131	1	4	0	5	10	0	10	19	224	243	1	2	6	6,150	1	25,000
31. 3. 31	3	132	127	1	4	0	5	10	6	16	17	199	216	0	0	5	5,740	1	26,000

# 林 業

本市の森林面積は31,910haで全面積の59.7%を占め、林業生産の重要な基盤であるとともに、国土の保全及び水資源の確保、さらには市民の保健休養の場としての役割も極めて大きいものがある。

しかしながら社会経済情勢の変化に伴い、山村地域の過疎化及び国産材の価格の低迷等、森林、林業には非常に厳しい現況となっている。

そのため、今日では、木材生産を主体としたものから、水源かん養・土砂流出の防止・二酸化炭素の吸収等、森林の多面的機能の持続的な発揮を目的とした適正な森林の管理が必要となっている。

## 1 森 林 面 積

(単位：ha)

区 分	民 有 林			国 有 林		合 計
	公 有 林	私 有 林	小 計	官行造林	林野庁所管外	
面 積	1,530	30,292	31,822	57	32	31,910
人 工 林	1,141	18,231	19,372	45	14	19,431
人 工 林 率	74.5%	60.1%	60.8%	78.9%	43.7%	60.8%

(注) 合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるものである。(平成29年度福井県林業統計書抜粋)

## 2 林 道

### (1) 林道網整備計画

(越前地域森林計画書 H28.4.1～R8.3.31)

幅 員	2.5m～3.0 m	3.5m～4.0 m	5.0 m	計
路 線 数	16	24	1	41
計 画 延 長	12,680 m	25,454m	1,000 m	39,134m

### (2) 既設林道の状況

(平成31年3月31日 現在)

軽 車 道	46,716m	65路線
自 動 車 道	351,966m	199路線
計	398,682m	264路線

### (3) 林道による森林保全計画

(平成30年12月現在)

区 分	計 画 面 積	蓄 積
林 道 に よ る 保 全	4,477.70 ha	922,912 m <sup>3</sup>

## 3 林産物生産状況

### (1) 特 用 林 産 物

き の こ 類 (kg)						樹 実 類 (kg)		木 炭 (kg)	木 酢 液 ( )	山 菜 ・ 薬 草 類 (kg)		
乾しいたけ	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	まいたけ	ひらたけしめじ	柴 栗	栽 培 栗			わらび	ぜんまい	おうれん
418	9,966		298,273	10,100	7,496			17,900	350			

(平成29年度福井県林業統計書抜粋)

## 4 保安林面積

(単位：ha)

水源 かん養	土砂流出 防備	土砂崩壊 防備	潮害 防備	干害 防備	なだれ 防止	落石 防止	魚つき	保健	風致	合計
4,381	659	65	33	26	278		9	111	1	5,563

(平成29年度福井県林業統計書抜粋)

## 5 造林事業

### (1) 福井市公団造林及び市有林の実施概要

単位：ha (平成31年3月31日現在)

地係	鮎川	国見	国見元	五太子	二ツ屋	国山	鷹巣	奥平	西大味	東郷	大丹生	四の谷	上一光	横谷
総面積	35.36	63.30	43.97	95.99	51.36	8.63	162.08	24.84	1.81	6.10	1.22	44.92	2.01	3.45
造林面積	33.75	56.39	36.33	63.40	41.04	8.60	92.59	20.00	1.00	3.82	1.22	28.40	1.10	2.20

地係	河内	仁位	合計
総面積	6.40	4.97	556.89
造林面積	6.40	4.97	401.21

## 6 森林公園(キャンプ・バーベキュー施設等)

### 国見岳森林公園

本市の北西部は、国見岳(標高656m)を中心とした森林地帯であり、この山頂からは越前加賀国定公園の美しい海岸線を眺望できるほか、都市近郊林として恵まれた自然環境を有しているため、観光林業として地域産業の転換を期待し、林間キャンプ場等野外レクリエーション施設の整備を行った。

当施設は市民のアウトドア指向の高まりから、森林の総合的機能を生かし、昭和56年8月1日オープンしたもので、その後、市民のニーズに対応したオートキャンプ場、サイクリングロード等施設の充実を図った。

しかし、施設設置から35年以上が経過し、施設・設備の改善に多くの費用が要することから、当施設の見直しを行った結果、平成30年度から宿泊機能を停止し、日帰り利用を主とした運営方式に変更した。

### (1) 施設概要

管理センター (管理棟)	1棟 252㎡ 休憩室、救護室
芝生広場	5,000㎡
バーベキュー広場	700㎡
屋外バーベキュー炉	6基
バーベキュー棟	3棟
サイクリングロード	1,100m
水辺の広場	1ヶ所

## (2) 利用状況

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
27	413	1,639	815	963	1,628	1,481	787	627	8,353
28	410	1,167	367	965	1,758	1,090	1,775	512	8,044
29	309	1,292	730	881	1,282	2,902	615	552	8,563
30	0	20	5	9	39	8	37	10	128

## リズムの森

バーベキューやアスレチック、カブト虫飼育場など多彩な施設を備え、自然に親しみ楽しく遊べるキャンプ場である。キャンプファイヤー広場もあり、大自然の中で高らかに燃える炎をみんなで囲むなど、特別な思い出をつることができる。夜はテント・バンガロー・コテージなど自然に包まれながら眠りにつくことができる。大型バス用も備えた無料駐車場があり、団体での利用も可能である。

### (1) 施設概要

管 理 棟	1棟 235㎡ 事務室・避難室・保健室・会議室・シャワー室など
バンガロー施設	5棟(6人用)
コテージ	3棟(4人用)シャワー室、トイレ、ミニキッチン付
テント	11張(5人用)
芝生広場	2,000㎡(キャンプファイヤー)
バーベキューテーブル	5テーブル(10人用)、5テーブル(12人用)
バーベキュー炉	12炉(6人用)
魚のつかみ取り池	1ヶ所(予約必要)
駐 車 場	普通車70台 大型バス3台

## (2) 利用状況

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
27	109	748	382	502	1,309	365	301		3,716
28	187	541	292	1,085	1,230	402	196		3,933
29	102	517	159	612	754	192	172		2,508
30	70	749	138	323	2,005	419	114		3,818

## SSTらんど

SUN(太陽)、STAR(星)、TREE(木)の頭文字を組み合わせて名付けられたSSTらんど。名前のとおり自然を満喫できる緑のスポットである。

総合案内所を中心に、バーベキューハウス、アスレチック、「オズの魔法使い」がテーマの童話の森、ログハウス風のバンガロー(5棟)、パターゴルフ場(27ホール)などがあり、家族や友人で太陽の光を浴び、星を眺め、木々の香りを楽しむのに最適の場所である。

## (1) 施設概要

管 理 棟	1 棟 受付
バンガロー施設	5 棟 (4 人用) 収容能力20人 (エアコン・シャワー付)
テントサイト	24区画
芝生広場	4,000㎡ (コンビネーション遊具1基、キャンプファイヤー)
バーベキューテーブル	6 テーブル (8 人用)
バーベキュー炉	23 炉 (10 人用)
バーベキューステージ	11 区画 (10 人用)
パターゴルフ場	27ホール
アスレチック	1 ヶ所
水車広場	2,893㎡
童話の森	10,000㎡
しょうぶ園	2,000㎡

## (2) 利用状況

(単位:人)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	計
27	1,366	4,914	2,157	2,864	4,871	2,525	2,220	482	21,399
28	1,758	4,222	2,447	3,251	3,599	2,176	2,377	424	20,254
29	1,508	3,359	2,563	3,586	3,277	1,729	1,654	424	18,100
30	1,856	4,172	2,825	2,292	3,017	2,903	1,915	899	19,879

## 木ごころの森

樹木とふれあい自然の豊かさを体感できる森林公園である。散策道では、森林浴で癒されながら、クイズラリーを楽しむことができ、家族や友人で森林の多面的な役割への理解を深めることができる。

### 施設概要

#### ・広場エリア

多目的広場	940㎡ (ウッドデッキ)
芝生広場	2,290㎡
あずまや	1 棟
屋外便所	1 棟
駐車場	普通車27台 (内 障がい者用2台) 大型バス1台

#### ・里山エリア

遊歩場	724m
散策道	608m

## 清水きららの森～おばやま自然公園～

遠足や自然学習の場として自然とふれあえ、子ども連れの家族が森の中で遊べる公園。冒険の広場には複合遊具などがあり、野鳥の森、昆虫の森は、企業と連携して野鳥、昆虫の集まる樹木を植栽している。



## 施設概要

冒険の広場 (複合遊具を含む。)	5,260 m <sup>2</sup>
野鳥の森	5,250 m <sup>2</sup>
昆虫の森	4,040 m <sup>2</sup>
展望台	1棟
あずまや	1棟
遊歩道	350.00m
屋外便所	35.41 m <sup>2</sup> (木造)
駐車場	普通車 39台 (内身障者用 1台) 大型バス 1台

## 水産

本市の海岸線は単調なうえ、日本海特有の地勢急峻で天然の港勢に恵まれないため漁港の整備促進を図ってきた。漁業形態は定置網、イカ釣、刺網、底曳網、一本釣、はえ縄、その他浅海漁業で、その規模は多種多様である。平成29年の属人生産量は、1,292 tとなっている。漁船数は3 t未満 197隻、3～5 t 45隻、5～10 t 17隻、10～20 t 13隻、総数272隻 (H31.3.31) で、日本海中部における、玄達瀬、松出し瀬付近で操業している。近年の産業構造の推移状況を踏まえ、沿岸漁業生産基盤の確立のために漁港の整備や沿岸漁業構造改善事業を推進するとともに、海底耕耘による漁場環境の改善やマダイ、ヒラメ、アワビ、キジハタの種苗を放流するなど栽培漁業にも継続的に取り組み水産振興を図っている。

### 1 漁港施設 (市管理)

(平成31年3月31日現在)

漁港名		白浜(国見)	長橋菅生	鮎川	大丹生	大味	居倉
種別		第2種	第1種	第1種	第1種	第1種	第1種
外郭施設	防波堤	408.9 m	613.9 m	267.5 m	394.4 m	69.3 m	318.8 m
	防砂堤・突堤	10.0 m	34.2 m	49.9 m		58.0 m	
	護岸	290.5 m	1108.7m	197.4 m	957.7 m	133.2 m	557.1 m
係留施設	物揚場	217.9 m	192.0 m	128.0 m	126.0 m		51.0 m
	船揚場	125.1 m	226.1 m	103.9 m	190.8 m	30.8 m	111.7 m
航行補助施設 水域施設 輸送施設	灯台	1基	1基				
	泊地	9,100 m <sup>2</sup>	18,392 m <sup>2</sup>	8,063 m <sup>2</sup>	9,232 m <sup>2</sup>	3,592 m <sup>2</sup>	1,470 m <sup>2</sup>
	航路	3,300 m <sup>2</sup>					
	道路	201.8 m	264.0 m	29.1 m	111.9 m	170.0 m	
漁獲物施設 及び保存 加工施設	冷蔵庫	1棟					
	荷さばき所	1棟	1棟				

## 2 稚魚の放流

水産資源の確保を図るため、ヒラメ・アワビの中間育成・放流、及びマダイ・キジハタの放流を行っている。

魚種名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ヒラメ	45,000尾	45,000尾	45,000尾	45,000尾	45,000尾
アワビ	27,000個	15,000個	27,000個	27,000個	21,000個
マダイ	12,000尾	12,000尾	12,000尾	10,000尾	10,000尾
キジハタ	-	-	-	2,000尾	2,000尾

## 3 海岸保全施設

(平成31年3月31日現在)

漁港名	白浜(国見)	菅生	鮎川	大丹生	大味	居倉
海岸保全区域延長	148.0m	592.0m	390.0m	489.0m	390.0m	446.0m
護岸	148.0	592.2	101.0	442.0	113.2	490.1
消波堤	20.0	93.8				84.0
離岸堤			127.1	219.6	135.0	

## 4 漁業協同組合

漁業協同組合は、共済、購買、販売、利用、指導等の各事業を営み、漁業者の経済的、社会的地位の向上を図っている。

(平成30年12月31日現在)

区分	福井市漁業協同組合	越廼漁業協同組合
設立年月日	昭和46年4月1日	昭和38年6月1日
組合員数	902人	308人
出資金	66,330,000円	23,875,000円
役員数	11人	8人

# 土地改良

## 1 土地改良施設

### (1) 農業排水(施設)

(平成31年4月1日現在)

区分	施設の個所数			
	排機	樋門	樋管	計
河川に排水される農業排水	17	184	93	294

### (2) 農業用道路

(平成31年4月1日現在)

全延長	801 km
舗装延長	304 km
舗装率	38.0 %

**(3) 圃場整備状況**

(平成28年度末現在)

整備対象水田面積	7,582.8ha
一次整備済	6,310.7ha (83.2%)
大規模圃場整備済	747.6 ha (9.9%)

**(4) 集落排水処理施設**

(平成31年4月1日現在)

区分	施設数	備考
集落排水処理施設	28	農業集落排水処理施設、林業集落排水処理施設、漁業集落排水処理施設、小規模集合排水処理施設

**2 農業農村整備事業****(1) 市単事業**

(平成30年度)

事業内容	用排水施設整備	農道整備	区画整理	ため池整備	農地海岸整備	集落内環境整備	災害復旧
件数	46	34	2	2	2	9	62
市負担額	43,638 千円	27,566 千円	548 千円	2,426 千円	540 千円	602 千円	28,848 千円

**(2) 県単事業**

(平成30年度)

事業内容	用排水施設整備	水閘門	集落内環境整備
件数	12	2	1
市負担額	17,942 千円	1,086 千円	2,450 千円

**(3) 国庫補助事業****(ア) 団体営事業**

(平成30年度)

事業内容	かんがい排水	ほ場	集落排水	災害復旧
件数	11	1	8	20
市負担額	18,340 千円	400 千円	103,600 千円	40,133 千円

**(イ) 県営事業**

(平成30年度)

事業内容	かんがい排水	ほ場	農道	農地防災
件数	7	4	1	4
市負担額	34,531 千円	9,920 千円	19,750 千円	24,556 千円

# 園芸センター

福井市の農業は稲作が主体であるが、都市近郊としての立地条件を生かした野菜を始め、花卉、果樹などの園芸作物の振興を図るため園芸技術の普及・支援を行ってきた。

また、国の農業施策に呼応しながら消費者ニーズを的確にとらえ将来を展望した園芸作物の栽培試験、特産ブランドの開発など、地域に適応した作物の園芸振興促進のため、産地の育成・指導等に力を入れてきた。

さらに、市民からの園芸相談や、生涯学習のための講習内容を充実するなど園芸に関する拠点として幅広く市民が利用できる施設を目指している。

**施設の概要**    **総面積2.46ha**    **圃場面積0.48ha**    (平成31年4月1日現在)

名 称	構 造	棟 数	面 積
本館（作業場合）	鉄骨平屋建て	1棟	1,168 m <sup>2</sup>
堆肥・農機具格納庫舎	〃	1	172
温 室	鉄骨アルミ製	11	2,988
ビニールハウス	鉄パイプ製	19	2,275
屋外トイレ	鉄筋コンクリート	1	21

## 令和元年度主要事業計画の概要

### 1 試験研究事業

#### (1) 野菜に関する試験

- 金福すいか及び銀福すいか高品質株の選抜試験
- 金福すいかと銀福すいか3畝栽培及び補光栽培試験
- 金福すいか及び銀福すいか品質向上に向けた台木の選抜試験
- 銀福すいか後継品種の開発（雑種第二代）
- 銀福すいか後継品種の開発（雑種第三代）
- 金福すいか後継品種の開発（種なし果実の確認と特性調査）
- 金福すいか後継品種の開発（コルヒチン種子浸漬処理と幼芽滴下処理）
- 金福すいか後継品種の開発（秋作）
- きゃろふく根色固定化、根形選抜試験
- きゃろふく採種量増加試験
- きゃろふく種子小型化試験
- きゃろふく父本品種選抜試験
- カーボロネロの栽植密度の検討
- 加工・業務用キャベツ向き大玉品種選抜調査
- パプリカの摘果（花）による可販収量向上試験
- 耐暑性品種を用いた夏季キャベツ出荷時期の拡大
- 単為結果性トマトによる省力化と経費削減の調査

#### (2) 果樹に関する試験

- オリーブの施肥指針の確立試験
- オリーブの灌水指針の確立に向けた調査
- オリーブの挿し木苗生産の試験
- ナツメの剪定方法の確立試験

### (3) 花卉に関する試験

コンテナ栽培における水仙球根養成方法の確立試験  
鷹巣・国見地区に移植した越前水仙の草丈に関する試験  
切花ハボタンの栽植密度が切花品質に及ぼす影響

## 2 実証栽培事業

### (1) 野菜

金福すいか・銀福すいか  
きゃろふくニンジン  
カーボロネロ  
ミディトマト  
スイートコーン

### (3) 養液栽培

葉菜類の水耕栽培  
ミディトマトのロックウール栽培  
イチゴのロックウール栽培

### (2) 花卉

アスター  
デルフィニウム  
菊(夏～冬咲き)  
ハボタン  
原種系水仙

### (4) 果樹栽培

ナシ  
カキ  
ウメ  
ブルーベリー  
イチジク  
ブドウ  
モモ  
オリーブ

## 3 特産物の産地育成事業

### (1) 産地育成技術指導及び生産者支援

金福すいか・銀福すいかの特産化推進  
きゃろふくの特産化  
カーボロネロの普及  
越のルビーの巡回指導  
栽培技術現地指導  
花卉生産者の育苗受注  
伝統野菜(新保ナス)現地指導  
越前水仙現地指導  
水田園芸の推進  
オリーブの産地育成  
ブドウ・モモ・イチジク等の巡回指導

### (2) 新規就農支援講座

講座

野菜、切花、果樹 年間講座 64回

## 4 各種講座、講習会、緑化推進への支援など

### (1) 家庭園芸の普及

定期園芸講座

野菜、切花、盆養、果樹 5班 受講生 105名

活動期間 4月～12月

園芸講習会 4月～3月の8講座 (会場：園芸センター)

その他講座(不定期) J A、農業団体等からの要請により講師として職員を派遣

園芸相談 来園者による直接の相談、電話、メールによる相談など

### (2) 栽培体験学習推進

親子園芸教室 (対象：市内に在住の小中学校の子とその保護者)

会場 園芸センター

定員 15組

### (3) 緑化推進への支援

春・夏花壇用苗の供給 (対象：公民館 約51,000本)

即売会協賛 福井を美しくする会連絡協議会 4月

市民憲章推進協議会 6月

フェニックスプラザ・フラワーハウスへの鉢花供給

団体やイベントへの花苗の提供

# 中央卸売市場

福井市を中心に福井県の生鮮食料品等の集配拠点市場として、卸売市場法に基づき昭和49年10月7日農林水産大臣の認可を受けて開設したものである。この中央卸売市場は、生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図り、もって市（県）民の生活安定を目的としており、生鮮食料品等の取引及び荷さばきに必要な諸施設並びに駐車場を完備し、法及び業務条例等に基づき市の指導監督のもとに的確な集荷と公正な卸売業務を行っている。

## 1 施設概要

【所在地】	福井市大和田1丁目101番地		
【敷地面積】	140,198㎡		
【構造】	鉄筋、鉄骨2階～3階、塔屋4階		
【着工】	昭和48年1月	【完成】	昭和49年9月
【工費】	36億円		

## 2 中央卸売市場のしくみ

### (1) 開設者 / 福井市

市場施設の維持管理、市場の運営にあたり、法律・条例・規則に基づいて指導監督を行っている。また卸売業者・仲卸業者の業務を検査し、毎日の入荷量や価格などの市場統計情報を市民に知らせる者。

### (2) 卸売業者 / 集荷・販売代行機関、青果部1社、水産物部1社、花き部1社

全国各地の出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け（買付けをする場合もある）これをせり売り、入札売り又は相対売りで仲卸業者や売買参加者に販売し、出荷者から決められた手数料を受け取る者。

### (3) 仲卸業者 / 評価・分荷機関、青果部13社、水産物部4社、花き部1社

せり売り、入札売り又は相対売りに参加して、卸売業者から買い取った生鮮食料品等を市場内の店で、売買参加者や買出人に細かい単位に分けて、販売（相対売り）する者。

### (4) 売買参加者 / 評価・小売機関、青果部198人、水産物部198人、花き部41人

小売商、加工業者、大口消費者のうち、卸売業者のせり売り、入札売り又は相対売りに参加できる資格を持ち、市場外で主として一般消費者へ販売する者。

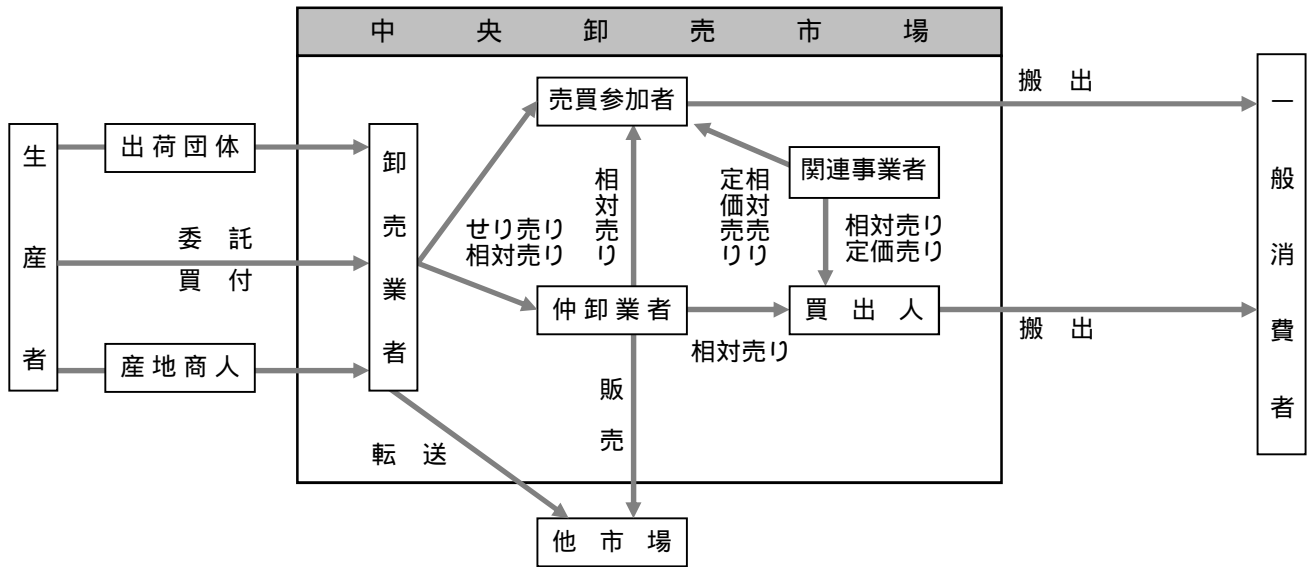
### (5) 関連事業者 / 市場機能の充実及び市場利用者へのサービス機関60社

開設者の許可を受けて、市場機能を補完するため又は市場を利用する人達の便益を図るため、市場内の店舗、その他の施設において営業している者で、関連商品、冷蔵庫業、飲食業などを営む者。

### (6) 買出人 / 小売機関等、青果部27人、水産物部89人、花き部42人

小売商、加工業者、大口消費者のうち、仲卸業者から生鮮食料品等を購入している者。

### 3 流通の経路



### 4 取扱高

年度	青果部		水産物部		花き部		総取扱高
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
28	t	千円	t	千円	千本	千円	千円
	32,735	9,413,190	11,342	10,606,781	10,994	722,995	20,742,966
29	31,111	8,958,531	9,904	10,238,407	9,585	618,968	19,815,906
30	30,403	8,468,517	8,338	8,807,413	8,276	540,213	17,816,143

### 5 1日あたりの取扱高

区分	青果部	水産物部	花き部
数量	117t	27 t	37 千本
金額	32,697 千円	28,049 千円	2,390 千円